

『それでは、どのように生きるべきか』 コリント人への手紙第一6章19～20節 2016.8.28(森繁昇氏説教より)

『初めに、神が天と地を創造した。／…あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。』創世記1:1 / I コリント 6:19～20

◆服のボタンを最初に掛け違うと、最後に残念なことになる。聖書の最初は「初めに、神が天と地を創造した」！これが違えば、聖書全部が嘘！この世界を神が創られた？俺が神に創られた!?そんなバカな！宗教大嫌い！洗脳されないぞ！と思いつつも、全て絶対に嘘だと言い切れない自分もいた。もしそれが本当なら知りたい！と聖書を読んで分かった！聖書には「福音(Good News)」が書かれていた。「教え」は宗教だが、福音は「お知らせ(News)」であり、神が、創られた私たちに、ご自分の愛を知らせ、一方的に恵みを伝えに来られた。イエス様は『聴く耳のある者は聴きなさい』と言う。素直に聴けばわかる神の愛だが、多くの人は「聴く耳を持たない」。目には見えないからと言って簡単に否定するのはどうだろう。風は目に見えないが吹いているのがわかる。木立が揺れるから。神の愛はもたらわわかる！謙虚になって聴く耳をもてば、神の愛が本物だとわかり、守られ、愛されていることに気づく！

◆神は言われた「真理はあなたがたを自由にする(ヨハネ 8:32)」と。神の愛を受けたとき、人目を気にして生き、誰かと比べて優越感や劣等感を持ち、この世の価値観に左右される生き方から自由にされ、自分らしく生きる人生に変えられた！それでは、どう生きるべきなのか？聖書は、「私たちが神に買い取られた者で、神に喜ばれる人生を生きるように」と告げる！マタイ 20 章に『ぶどう畑の主人』の話がある。仕事がない全ての人を、全員同じ契約で雇い、最後駆け込みで1時間しか働けなかった人にも、同じ給料を払ったこの主人こそ、私たちを愛し、恵み、憐れんでくださるイエス様。イエス様のところに来る全ての人を受け入れられ、その愛で全ての罪が赦され、イエス様が下さる全ての祝福をもらって生きるスゲー人生がある！

★この労務者たちは、「出て行かなければ」仕事も給料も祝福も受けることはなかった。自分の罪も弱さも全部隠さず神に見せた時、どたまげるほど優しい神を知る。イエス様を求めて祈ろう！人生、夕方になっていても大丈夫！